



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月30日

上場会社名 株式会社 日本トリム
 コード番号 6788 URL <http://www.nihon-trim.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森澤 紳勝

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 田原 周夫

TEL 06-6456-4600

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	12,467	7.7	2,000	5.7	1,849	2.5	1,205	9.9
2019年3月期第3四半期	11,574	10.0	1,892	22.7	1,804	9.5	1,096	6.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,190百万円 (8.6%) 2019年3月期第3四半期 1,095百万円 (2.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	152.66	152.59
2019年3月期第3四半期	137.39	137.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	23,416	18,111	76.0	2,254.29
2019年3月期	22,613	17,395	75.5	2,162.68

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 17,798百万円 2019年3月期 17,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		60.00	60.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,360	7.8	2,630	16.9	2,530	19.2	1,480	18.4	185.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	8,656,780 株	2019年3月期	8,656,780 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	761,438 株	2019年3月期	761,438 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	7,895,342 株	2019年3月期3Q	7,983,587 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は12,467百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は2,000百万円（同5.7%増）、経常利益は1,849百万円（同2.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,205百万円（同9.9%増）となりました。

整水器販売事業では、第2四半期は好調の中でも消費増税前の駆け込み需要は特段なかったため、第3四半期に入ってから直接的な反動はほぼありませんでしたが、市場全体の消費の落ち込みによる影響を少なからず受けた結果となりました。そのような環境ではありましたが、注力しております「健康経営®」を切り口とした法人向け営業では、法人による一括導入のみならず、福利厚生の一環として企業が従業員に対して補助金を出すといった導入事例も出てきており、さらなる拡がりが見えてきました。本年は、理化学研究所、東北大学、東京大学などとの産学共同研究の成果として、糖尿病への電解水素水飲用効果に関する論文や電解水素水の抗酸化性の機序に関する論文など、電解水素水に関する論文発表を少なくとも5報予定しており、電解水素水のさらなる認知向上、エビデンスの強化により、整水器の普及が大いに躍進すると考えております。その受け皿として、営業社員の増員も含め、ECサイトなどのWEB対策等にも精力的に取り組んでまいります。

電解水透析事業においては、関東、関西でも基点となる有力な施設への導入を進めております。引き続き営業に注力し、当社が目標とする3年以内の100施設への導入を目指してまいります。

再生医療分野においては、さい帯血保管事業を行う株式会社ステムセル研究所が本年1月6日に東京証券取引所へ上場申請いたしました。

中国での病院運営事業につきましては、既に公的保険適用の申請を終え、承認待ちの状況ですが、患者数増に向けて精力的に取り組んでおります。まだ先行投資段階であり、当第3四半期連結累計期間では250百万円の持分法による投資損失を営業外費用に計上しております。

当社グループ全般に亘り着実に伸長しており、当社が目指すグローバルなメディカルカンパニーへと着実に移行しております。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

[ウォーターヘルスケア事業]

整水器販売においては、健康経営に対する社会的意識の高まりが要因となり、健康経営を切り口とした法人向け営業の成果が徐々に出ております。今期は2019年12月末時点で1,443法人に計2,269台の整水器を導入いただき、そこから個人へと展開しております。2019年10月からの3ヶ月間で約400法人への拡がりを見せており、1社で87台の整水器を導入いただいたケースや、福利厚生の一環として社員の自宅用に40台の整水器を購入いただいたケースが出るなど、これまでの施策が着実に実ってきております。一方、今後の飛躍的普及拡大に向けて注力しております産学協同研究も着実に進展しており、上述のとおり、本年は、電解水素水に関する論文発表を少なくとも5報予定しております。今後も国内外の研究機関と引き続きエビデンス構築に取り組みつつ、営業・アフター部門の強化を図り、整水器の普及拡大、ストックビジネスである浄水カートリッジ販売による安定的な収益基盤構築につなげてまいります。

海外においては、インドネシアのボトリングビジネスの売上高が現地通貨ベースで前年同期比39.1%増と、着実に伸長しております。一方、2025年度に売上高130億円規模という目標を達成すべく、ブランディングとサプライチェーンの強化を目的に、現地パートナーのシナルマス・グループと協力してプロモーションに先行投資を実施しております。

以上の結果、ウォーターヘルスケア事業の売上高は11,037百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は1,721百万円（同5.7%減）となりました。

〔医療関連事業〕

電解水透析事業では、今年度、8施設に導入され、現在、国内22施設で約1,500名の患者の方々が電解水透析治療を受けられております。引き続き、病院からの引き合いが増加しており、第4四半期から来期にかけては20件以上の施設と具体的折衝中です。電解水透析は、患者のQOL向上、予後の改善への貢献とともに、病院経営にも収益面で寄与することが期待されており、その実証に向けた取り組みも開始しております。今後、次世代のグローバルスタンダードへと発展させてまいります。

再生医療分野では、国内最大の民間さい帯血バンクである株式会社ステムセル研究所は、売上高が前年同期比51.1%増と引き続き順調に伸長しております。昨年12月末時点の保管者数は52,000件以上となり、国内シェアは約99%となっております。事業インフラの強化に取り組む一方、事業拡充に向け、東京大学医科学研究所附属病院などと共同研究にも取り組んでおります。同社は、上述のとおり、本年1月6日に東京証券取引所へ上場申請いたしました。今後の連結業績に与える影響を含め、開示すべき事由が発生した際には、速やかに開示いたします。

中国での病院運営事業では、公的保険適用の承認待ちの状況で、今年度中には承認を得られるものと見込んでおります。公的保険診療を開始すれば、まずは来院者数が増加し、そこからより収益率の高い自由診療の拡大へと繋げてまいります。

以上の結果、医療関連事業の売上高は1,430百万円（前年同期比55.6%増）、営業利益は278百万円（同317.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は23,416百万円となり、前連結会計年度末に比べ803百万円増加（前期比3.6%増）いたしました。主な要因は、現金及び預金1,053百万円の減少がありましたが、投資有価証券1,168百万円及び流動資産のその他616百万円が増加したことによるものであります。

負債は5,304百万円となり前連結会計年度末に比べ86百万円増加（同1.7%増）いたしました。主な要因は、未払法人税等336百万円の減少がありましたが、固定負債のその他332百万円及び流動負債のその他132百万円が増加したことによるものであります。

純資産は18,111百万円となり前連結会計年度末に比べ716百万円増加（同4.1%増）いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,205百万円を計上した一方、配当金473百万円の支払を行ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年4月25日「2019年3月期決算短信」にて公表しております。通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,885,874	8,832,425
受取手形及び売掛金	1,935,474	1,820,932
割賦売掛金	2,790,831	2,988,571
製品	370,252	342,737
原材料及び貯蔵品	666,467	584,080
その他	168,010	784,834
貸倒引当金	△11,840	△8,320
流動資産合計	15,805,069	15,345,262
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,466,920	2,466,431
その他(純額)	1,052,318	1,131,520
有形固定資産合計	3,519,239	3,597,951
無形固定資産		
のれん	534,507	506,667
その他	27,595	28,023
無形固定資産合計	562,102	534,691
投資その他の資産		
投資有価証券	1,785,341	2,953,490
その他	988,348	1,034,950
貸倒引当金	△46,952	△49,707
投資その他の資産合計	2,726,738	3,938,732
固定資産合計	6,808,079	8,071,376
資産合計	22,613,149	23,416,638
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	914,414	1,019,550
1年内返済予定の長期借入金	12,490	11,160
未払法人税等	457,999	121,960
賞与引当金	152,540	58,389
製品保証引当金	2,000	1,000
返品調整引当金	25,000	22,000
契約損失引当金	207,895	135,053
その他	1,435,056	1,567,281
流動負債合計	3,207,396	2,936,394
固定負債		
長期借入金	12,950	12,480
役員退職慰労引当金	194,672	208,121
退職給付に係る負債	263,389	275,830
その他	1,539,420	1,871,861
固定負債合計	2,010,432	2,368,292
負債合計	5,217,828	5,304,687

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	992,597	992,597
資本剰余金	645,641	645,641
利益剰余金	18,613,932	19,345,517
自己株式	△3,110,232	△3,110,232
株主資本合計	17,141,939	17,873,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,693	10,499
為替換算調整勘定	△68,838	△80,783
退職給付に係る調整累計額	△6,722	△4,861
その他の包括利益累計額合計	△66,867	△75,146
新株予約権	28,720	28,720
非支配株主持分	291,529	284,853
純資産合計	17,395,320	18,111,950
負債純資産合計	22,613,149	23,416,638

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	11,574,979	12,467,604
売上原価	3,236,899	3,633,726
売上総利益	8,338,079	8,833,878
販売費及び一般管理費	6,445,886	6,833,854
営業利益	1,892,192	2,000,024
営業外収益		
受取利息及び配当金	19,504	37,314
不動産賃貸料	48,839	58,803
為替差益	1,723	136
その他	32,225	24,600
営業外収益合計	102,293	120,855
営業外費用		
支払利息	3,851	1,619
持分法による投資損失	160,135	250,678
貸与資産減価償却費	12,272	12,151
その他	13,270	7,015
営業外費用合計	189,530	271,465
経常利益	1,804,955	1,849,414
特別利益		
固定資産売却益	—	502
関係会社株式売却益	—	14,134
特別利益合計	—	14,637
特別損失		
固定資産売却損	19,190	—
固定資産除却損	8,942	269
特別損失合計	28,133	269
税金等調整前四半期純利益	1,776,822	1,863,781
法人税、住民税及び事業税	592,767	617,544
法人税等調整額	47,547	45,292
法人税等合計	640,314	662,836
四半期純利益	1,136,507	1,200,944
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	39,642	△4,360
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,096,865	1,205,305

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	1,136,507	1,200,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,333	1,805
為替換算調整勘定	△39,916	△14,373
退職給付に係る調整額	1,998	1,860
持分法適用会社に対する持分相当額	△471	113
その他の包括利益合計	△40,722	△10,594
四半期包括利益	1,095,785	1,190,350
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,073,590	1,197,026
非支配株主に係る四半期包括利益	22,194	△6,676

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ウォーターヘルスケア事業」、「医療関連事業」の2つの事業セグメントを報告セグメントとしております。

「ウォーターヘルスケア事業」は、整水器販売事業及びそれに付随する業務を行っております。「医療関連事業」は、医療・予防医療分野や再生医療分野における事業等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	ウォーターヘルスケア事業	医療関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,037,352	1,430,251	12,467,604	—	12,467,604
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,037,352	1,430,251	12,467,604	—	12,467,604
セグメント利益	1,721,994	278,030	2,000,024	—	2,000,024